

# 路上演劇祭

Japan in 浜松 2017-2018

砂山を舞台にした 1年がかりの演劇祭。  
今年6月 1幕目が開く。

2017年 6月3日(土) 雨天決行

時間◇13:00-18:00頃

(状況によって時間が前後致します)

場所◇砂山銀座サザンクロス商店街

(浜松駅南口より徒歩3分)

**観覧無料**

<http://rojo-hamamatsu.blogspot.jp/>

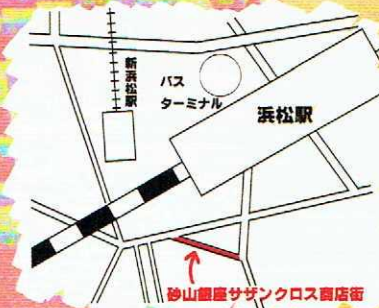
主催：路上演劇祭Japan浜松実行委員会

協力：砂山銀座サザンクロス商店街

後援：浜松市、(公財)浜松市文化振興財団、静岡新聞社・静岡放送、  
中日新聞東海本社、浜松百撰、FM Haro!

お問い合わせ：代表(里見) 053-428-6035

企画(寺田) 090-3879-8513



2015 遠鉄百貨店前



2014 ZAZACITY浜松



2013 新川モール



2012 有楽街



2011 モール街



2010 旧浜松



2009 サザンクロス



2001 サザンクロス他

「表現未満、」実行室

浜松市西区入野町が産んだ究極のバラエティバック!!見逃すな!!!!あらゆる「ちがい」を乗り越えて、すべての人たちが互いに理解し、分かち合い、共生できる寛容性のある社会を目指しています。



砂山劇場2017

町を歩き、話を聞き、話し合い、「砂山」を題材に芝居を作ります。人集めも含め、芝居作りを進めていきます。今回、静岡文化芸術大学の大学生により誕生したお芝居デリバリーまじまりの妹分ぷちまりと共に「砂山」をご紹介します。



TRIBUFU

MENDI 語

MENDIGOはブラジルの言葉でホームレスのこと。3人のブラジル系の俳優とダンサーが演劇、ダンス、オリジナルサウンドでつむぎだす、ホームレスの世界、それはもうひとつの私たちに違いない。作・演出のジルソン・サントスは2001年、



2011年の路上演劇祭に参加し、独特の世界を表出している。

里見のぞみ

どこかにつながってるに違いない

道は血管みたいだ。もとはドキドキ脈打ってたに違いない。今だってかすかにかすかに音が聞こえる気がするのだけど、それはいったいどこからなのだろう。

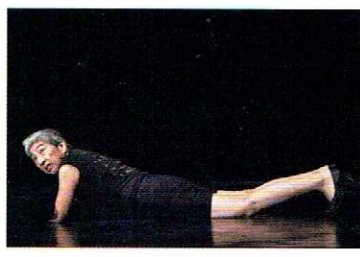


photo:Klaus-Henning Hansen

路上にこだわるマイム人。ずいぶん長いことやってる。紙やひもや袋を相手に地面を這う。

浜松キャラバン隊

発達障害、知的障害、こんな行動あるある!

伝えたい、知的障害、発達障害のこと活動を始めて今年で9年目。障害のある人もない人も、共に生き共に育て合う社会をめざして「みんなちがって、みんないい」を合言葉に活動をしています。見た目ではわかりにくい知的障害や発達障害について、こんな行動あるあると題して寸劇で表現します。

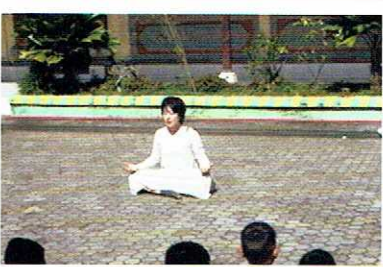


ひらのあきひろ

パフォーマンス屋台「らのや」

らのやがサザンクロスにやってきます。「1回100円で“あなたのためだけに”踊ります!」

…路上に展開するひどく個人的な空間。小林嵯峨に師事し1995年から1999年までの5年間、舞踏を学び、その間の主要作品に参加。1998年頃からソロ活動を開始。屋内屋外・国内海外を問わずあらゆるエリアで、ダンスパフォーマンスを展開中。



URARA

吸血伝説

SF! SM! FM! で鳴らした稀代の女流劇作家・岸田理生の短編小説の劇化に挑戦。旅をしながら主には無対象のひとり演劇をしています。2013年から始動

したラーマヤナプロジェクトで東南アジアを中心に活動展開拡大中。日本での拠点は路上演劇祭。久しぶりの浜松登場です!

加藤解放区

ミライハミテイ



3月に沼津の廃墟で行われた「妄想感謝祭」と「蜜会3」を経て発足。地域の高校生やワカモノ、高齢者劇団などを巻き込みながら、ゆるやかに、だけど継続的・発展的に、劇場に拘らないコンスタントな活動を続けたいなと思えるパフォーマンス・ユニット。



雨ニモ負ケズ

いらっしゃいませ(予告編)

ストリート宴会芸 静岡県内外のイベントや福祉施設等で活動中

しんぼじうむ

『砂山で物語をつくるということ』

参加者は砂山・観客・出演者のみなさん。2017年やこれまでの路上演劇祭をふりかえり、続けて砂山銀座サザンクロス商店街で行われる2018年に向けてスタートを切るとしても気軽な「しんぼじうむ」です。ぜひ語り合しましょう。

